

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 古典・名言から学ぶリーダー訓 8

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

## 古典・名言から学ぶリーダー訓 8

## ＝「運を呼ぶ男を探せ」！＝

大植武士がリコールの社長になった時の第一声が「勢に乗るコツを掴むことは難しい。それは運をひっぱてくることでもある。世の中には、きょう言えば悪い結果をもたらすが、明日言えばうまくいく、といった何かがある。この運をうまくつかまえるパターンはないが、だから企業経営は面白いともいえる。とにかく企業のトップというものは運をひっぱてくる男でなければネ、ということだった。

要するに上に立つほどの男は、悪運だろうと、善運だろうと、運の強い人間人間でなくてはならない。運の弱い奴がトップになると、本人はもちろん、会社までもがおかしくなるというのである。

たとえば、軍隊においても、戦時統御の鍵は部下を殺さないことである。

「あの隊長の下におれば、決して死ぬことはない」ということであれば、部下は、どんな苦勞をしてでもついてくる。また、シェークスピアが「人々の運命に満潮と干潮とあり、この潮勢を機敏に捉えるもののみ、幸福の彼岸に達する」といっているが同じである。

これは司馬遼太郎なども、歴史小説「坂の上の雲」で明確に指摘している。

戦争というものは国家がやる血みどろの賭博であるとするならば、将軍というのは、その賭博を代行する血の勝負師であらねばならない。

当然、天性、勝負運の憑いた男でなければならない。賭博の技術は参謀がやるとしても、運を貸すのは将軍でなければならない。海軍大臣の山本権兵衛は、連合艦隊司令長官を選ぶにあたって、何人かの提督のなかから、もっとも名声がなく、しかも舞鶴鎮守府司令長官という閑職にいた東郷平八郎をえらび、明治帝から、その理由を下問された時、「この男は、若いころから運のよかった男でございますので」と答えた。

山本は戦争とその執行者というものが、どういうものであるかを知りぬいていた。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ   📄 このサイトについて   🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE

静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.